



2017年7月28日

TSUBASA金融システム高度化アライアンス加盟行による AI（人工知能）の文章解析技術導入に向けた実証実験の開始について

千葉銀行（頭取 佐久間 英利）は、「TSUBASA金融システム高度化アライアンス（TSUBASAアライアンス）」*加盟行及び共同出資会社のT&Iイノベーションセンター株式会社（取締役会長 森本 昌雄、以下「T&I」）と共同で、2017年7月28日（金）より、AI（人工知能）の文章解析技術導入に向けた実証実験を開始いたしますので、お知らせします。

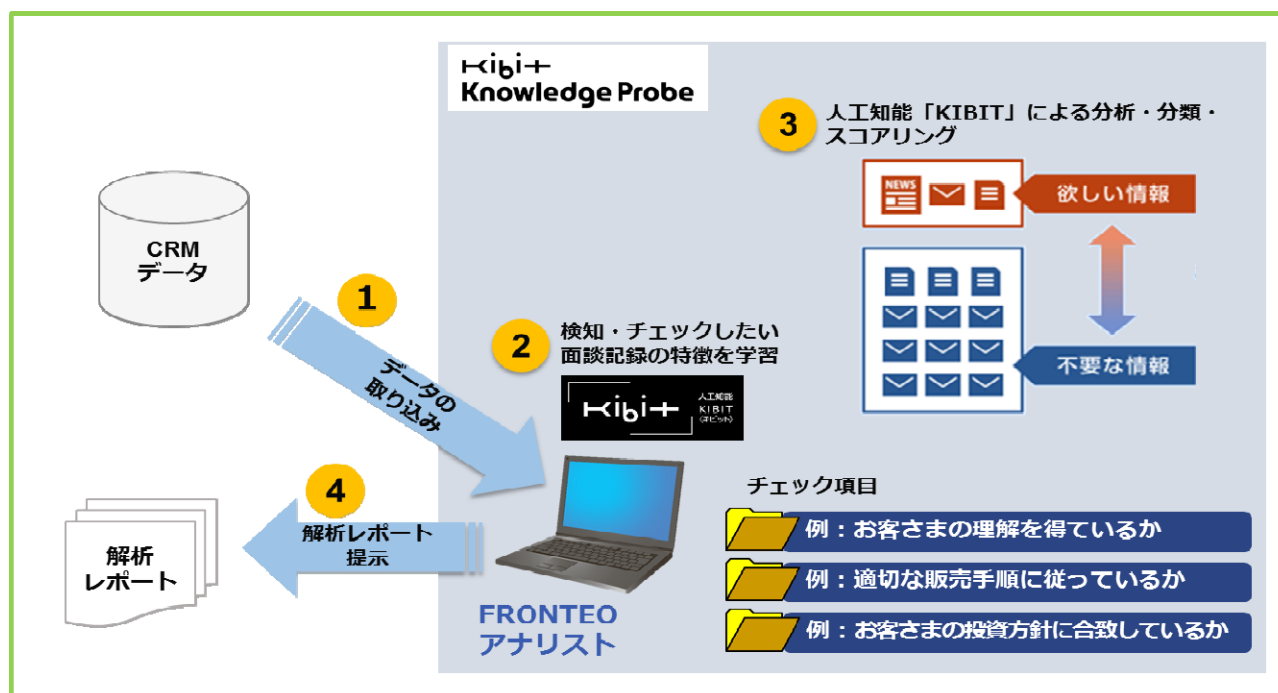
今回の実験は、株式会社FRONTEO（フロンテオ、代表取締役社長 守本 正宏）が独自に開発した人工知能「KIBIT（キビット）」の文章解析技術を用い、資産運用の相談や投資型金融商品の販売にかかるお客さまとの面談記録から、お客さまのニーズ分析や営業活動における課題抽出のためのモニタリング業務に活用していくことを目的としています。

今回の実験に「TSUBASAアライアンス」加盟行とT&Iが共同で取り組むことで、数多くの事例の収集・学習やノウハウの共有が図られ、解析技術の向上にもつながるものと考えており、実証実験の結果を踏まえたうえで、各行は本格導入を検討してまいります。

※フィンテックをはじめ先進的なIT技術を調査・研究するために発足した枠組みで、現在、千葉銀行、第四銀行、中国銀行、伊予銀行、東邦銀行、北洋銀行の6行が加盟しています。

以上

<人工知能「KIBIT (キビット)」による実証実験のイメージ>



<「KIBIT (キビット)」について>

人工知能「KIBIT (キビット)」は人工知能関連技術のLandscapingと行動情報科学を組み合わせ、株式会社FRONTEO (フロンテオ) が独自に開発した日本発の人工知能エンジン。「KIBIT (キビット)」という言葉は、人間の心の「機微」(KIBI)と、情報量の単位である「ビット」(BIT)を組み合わせたもので、「人間の機微を理解する人工知能」を意味している。人間の暗黙知や感覚を学ぶことで、テキストから文章の意味を読み取り、人間に代わって判断や情報の選定を行うことができる。

<株式会社FRONTEO概要>

商号	株式会社FRONTEO (フロンテオ)
所在地	東京都港区港南 2-12-23
代表者	代表取締役社長 守本 正宏
資本金	2,481 百万円
事業内容	リーガル事業 (訴訟時の電子データ収集等)、AI 事業 (解析事業)